

《実践法務スペシャリスト研究講座》

“企業内弁護士”の採用・育成・活用と 効果の測定

～企業経営アドバイザーとして求められる“問題解決型企業内弁護士”のポイントについて教示～

■ 日 時 ■ 2015年 3月12日 (木) 14:00～17:00

■ 会 場 ■ 「企業研究会セミナールーム」(東京・麹町) TEL: 03-5215-3511

■ 講 師 ■ 名取法律事務所 弁護士 名取 勝也氏

(前 日本アイビーエム(株)執行役員 Global Process Service 事業担当)

1982年慶応義塾大学経済学部卒業。1983年司法試験合格。梶田江尻(現西村あさひ)法律事務所。Davis Wright Tremaine 法律事務所(シアトル)。Wilmer, Cutler & Pickering 法律事務所(ワシントンDC)。その後、アップルコンピュータ(株) 法務・渉外本部長、サン・マイクロシステムズ(株) 取締役法務本部長、(株)ファーストリテイリング 執行役員法務部長、店舗開発部長、社会環境室長を経て、2004～2009年日本アイ・ビー・エム(株) 取締役執行役員法務・知的財産・コンプライアンス担当。2010～2011年日本アイ・ビー・エム(株) 執行役員 Global Process Service 事業担当。2012年名取法律事務所創設。オリンパス株式会社 社外監査役。内閣府総合科学技術会議専門委員(2009～2011年)。

■ 講 師 ■ コクヨ(株) / 取締役常務執行役員 弁護士 松下 正氏

1983年中央大学法学部卒業。1986年司法試験合格。東京青山(現ペーカー&マッケンジー)法律事務所。GE 横河メディカルシステム(株) 取締役法務特許室長、調達・研究開発・生産統括取締役、GE メディカルシステムズ台湾 総経理 COO、日本ゼネラルエレクトリック(株) 取締役副社長、(株)ファーストリテイリング 取締役上席執行役員、FR フランス 会長兼 CEO、シーメンス・ジャパン(株) 取締役ジェネラルカウンセル、2011年3月からコクヨ(株) 取締役常務執行役員。

◆ 開催にあたって

近年、企業を取巻く法務問題に対応すべく企業内弁護士を採用する企業が増えています。2014年6月時点では、619社の企業に1,179名の企業内弁護士が採用され、今後も拡大傾向に向かうものと予想されます。本セミナーでは、企業内法務責任者としての経験を有する2名の講師より、企業内弁護士を有効活用を進める上での組織設計、人事採用での留意点、また、リスク発生時での判断能力の醸成の観点等から、ご講演をいただきます。ぜひ、関係各位のご参加をお勧め申し上げます。

企業研究会セミナー事務局 福山行 FAX03-5215-0951～2

●受講料●1名 (税込、資料代含む)

正会員	30,240円	本体価格 28,000円
一般	33,480円	本体価格 31,000円

*会員企業は、こちらでご確認いただけます。
<http://www.bri.or.jp>

申込書をFAX又はE-mailでお送り下さい。
受信確認後、受講票・請求書をお送りします。

*申込書をFAXで送信いただく際は、FAX番号をお間違えないようご注意ください。

一般社団法人 企業研究会 事業開発部

担当: 福山 E-mail: fukuyama@bri.or.jp

〒102-0083

千代田区麹町5-7-2 麹町31MTビル2F

TEL 03-5215-3512 FAX 03-5215-0951

*お申込書に記入頂いた個人情報は、研究会に関する確認・連絡、及び当会主催のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

*最少催行人数に満たない場合は、中止とさせていただきますので、何卒、ご了承ください

141763-0303		2015.3.12	
申込書 “企業内弁護士”の採用・育成・活用と効果の測定			
会社名	フリガナ		
住所	〒		
TEL		FAX	
e-mail			
ご氏名	フリガナ	所属	役職

*お客様の個人情報は、本研究会に関する確認・連絡、および当会主催のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

●プログラム ●

3月12日(木)

講演1部

14:00

『グローバルな法的リスクに対応できる法務・知財部門の構築』

■ ■ 名取法律事務所 弁護士 名取 勝也氏 (前 日本アイビーエム(株)執行役員 Global Process Service 事業担当)

事業や市場のグローバル化に伴い、法的リスクも複雑化し、かつグローバル化している。そのような多様なリスクから企業を守り、さらには成長に貢献できる法務・知財部門を構築するための秘訣について概説していく。

1. グローバル化するリスク
2. グローバル化するリスクに対応するためのポイント
3. 法務・知財部門のグローバルなガバナンスとマネジメントのあり方
4. 企業内弁護士の存在価値と採用・育成のポイント
5. 社外専門家の活用のポイント

14:50

(休憩)

講演2部

15:00

『企業価値向上に結び付く法務部門の運営』

■ コクヨ(株) / 取締役常務執行役員 松下 正氏

弁護士を法務部員として、起用していく上で、考慮すべきポイント、社内での法務関連部署の役割を会社の事業形態、企業の規模や発展段階から考察し、具体的に弁護士を採用するメリット、デメリットを、採用方法とともに検討し、その育成、能力や業績評価の在り方についての試みを共有し、討議する。

1. 弁護士の素養、タイプ、キャリアの可能性
2. 法務部門の役割と価値— 関連部署との関係も
3. 会社の事業形態などと法務部門の関係
4. 弁護士の採用
5. 法務部門の目標設定 (やることリストと課題設定)
6. 法務部員の業績・能力評価と育成
7. 法務部門のコストと価値

15:50

(休憩)

対談3部

16:00

*このセッションでは、上記講師2名による、実践対談を中心にご参加者からの質疑応答も交えて、徹底的に企業内での弁護士の採用・育成・活用上での留意点と必須ポイントについて、掘り下げて参ります。

テーマ:「“企業内弁護士”の採用・育成を含む法務・知財部門の強化のための留意点と必須ポイントを踏まえた戦略的視点からの討議」

実践対談: 名取法律事務所 弁護士 名取 勝也氏 :

コクヨ(株) / 取締役常務執行役員 松下 正氏

(討議論点) ~1例として~

1. ゴール(最終形)から考える組織設計・人材要件と戦略
2. 法務・知財部門のミッションと方向性について
3. 目的に適った弁護士の採用と育成

17:00